

**平成23年度用『小学算数』
「年間指導計画案 ー評価規準の参考事例ー」の構成**

1. 「年間指導計画案 ー評価規準の参考事例ー」は、平成23年度用『小学算数』に基づき、1年間の指導計画を作成するための参考資料としてまとめたものです。各地域・学校の実態にあわせてご活用いただければ幸いです。

2. 算数科の年間指導時数は、1年136時間、2～6年175時間が標準授業時数とされていますが、本書の年間指導計画案では、各学年10～24時間の予備時間を設け、学校・学級の実態に応じて多少の時数調整ができるようにしています。

3. 「年間指導計画（略案）」では、1年間を見通した指導計画が立てられるように、学年ごとに「指導時期」「単元名（教科書該当ページ）」「指導時数」「指導内容（用語・記号）」「領域」を示しています。
なお、「領域」の記号は、A…数と計算、B…量と測定、C…図形、D…数量関係を表しています。
また、「月」に示した時数は、年間を35週（1年は34週）として、週時数を5時間（1年は4時間）と定め、各月に配当したものです。あくまでも月ごとの目安であり、学校行事など各学校の状況にあわせて、適宜見直していただければ幸いです。

4. 「年間指導計画（詳細案）」では、各学年の単元配列にしたがって「単元名（教科書該当ページ）」「指導時期」「指導時数」「単元の目標」「単元の評価規準」を示した後、分節ごとに、各時間の「区切り」「学習活動および内容」「おもな評価規準」を示しています。

5. ここでの「評価規準」とは、各単元（時間）ごとのおおむね満足できる子どもの学習状況を表しています。それを基にしながら、一人ひとりの子どもが基礎・基本を確実に身に付けているかどうかを評価し、努力を要する学習状況や十分に満足できる学習状況を判断していただくことになります。

6. 各時間ごとの「おもな評価規準」は、4つの観点のうち、その時間で中心になるものにしぼって示し、各時間における評価の重点が明らかになるようにしています。なお、4つの観点は、文末に以下の印を付けてあります。
 - （関）……算数への関心・意欲・態度
 - （考）……数学的な考え方
 - （技）……数量や図形についての技能
 - （知）……数量や図形についての知識・理解

本資料は弊社ホームページからダウンロードしてご利用いただけます。

<http://www.nichibun-g.co.jp/>